

10/25(月)の発表

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～

新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時

10/25(月)

15時00分

発表項目 (行事名)	腸管出血性大腸菌感染症（溶血性尿毒症症候群（HUS）） 併発事例の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所)	発表者	
	月 日 () 時 分～	発表場所	
概 要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆腸管出血性大腸菌感染症患者（HUS併発事例）の発生について 公表するもの</p> <p>渡島保健所</p>		
参 考			

報道（取材） に当たっての お 願 い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	渡島保健所	

担 当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課感染症対策係（担当：山下）		
	電話	(代 表)	011-231-4111（内線25-506）
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

腸管出血性大腸菌感染症の発生について 溶血性尿毒症症候群（HUS）併発事例

令和3年（2021年）10月25日（月）15：00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課

TEL：011-231-4111（内線：25-506）

FAX：011-232-3719

令和3年（2021年）10月21日（木）に、渡島保健所管内の女性（70歳代）から、腸管出血性大腸菌O157（ベロ毒素産生性）、溶血性尿毒症症候群（HUS）の併発が確認されたのでお知らせします。

記

1 発生の概要

令和3年（2021年）10月14日（金）に、渡島保健所管内の女性（70歳代）1名が腹痛、血便、発熱を呈し、医療機関を受診し、入院、検査、治療を受けていたところ、溶血性尿毒症症候群（HUS）を併発したことが確認された。

2 経過

10月14日（木）	夕方から発熱症状出現
15日（金）	血便症状出現 医療機関を受診し、入院・検査・治療の実施
19日（火）	医療機関より腸管出血性大腸菌感染症の患者発生届を受理
21日（木）	溶血性尿毒症症候群（HUS）を併発し、入院加療中

3 感染経路

現在調査中

4 対応

- ・ 家族等の健康調査及び便検査
- ・ 患者及び家族等の喫食調査
- ・ 家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

5 その他

この件については、本日15時00分、渡島保健所においても資料配付を行っています。
報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。（無症状病原体保有者）

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることで感染する。（経口感染）

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

溶血性尿毒症症候群（HUS）とは

概要：腸管出血性大腸菌（EHEC）が産生するベロ毒素が、腎臓の微小血管に障害を起こすことで、溶血性貧血、血小板減少、急性腎機能障害といった症状が現れる病態である。

その他、意識障害、痙攣、頭痛といった症状もみられる。

HUSはEHEC感染者の約1～10%に発症し、特に小児や高齢者が発症しやすい。

EHECに感染し、下痢あるいは発熱出現後4～10日に発症することが多い。